

グローバルなステージでの活躍を目指す学生および社会人の皆さんへ
情報科学研究科 講演会

イノベーション
INNOVATION

と

グローバルイノベーション
GLOBALIZATION

について考える

2015年12月22日 [TUE] 開始 14:40
終了 17:00

吹田キャンパス 情報科学研究科 B棟B101 講義室

参加無料・定員100名 締切 12/18 **事前申込** 下記アドレスに所属・役職・氏名・メールアドレスを送付ください
seminar@vlsilab.ics.es.osaka-u.ac.jp

お問い合わせ・当日司会：今井正治（情報科学研究科教授）

プログラム

(1) 14:40 ~ 15:40 = 講演1

「世界に出て行く」よりも、「世界に出て行ける」能力を身につけよう

中田 恒夫（欧州富士通研究所 社長）



(2) 15:40 ~ 16:40 = 講演2

多段階競争の時代にあえぐ日本のサイエンス/ハイテク産業：その克服策を探る

中馬 宏之（成城大学 社会イノベーション学部 教授、一橋大学 名誉教授）



(3) 16:40 ~ 17:00 = 意見交換

講演者プロフィール&講演概要



中田 恒夫
欧州富士通研究所 社長

略歴

- 1986年 東京大学工学系研究科博士課程修了（情報工学）、工学博士
株式会社富士通研究所入社
- 1993年 カリフォルニア大学バークレー校にて客員研究員（1年間）
- 2009年 米国富士通研究所 上級副社長
- 2012年 欧州富士通研究所 社長
- 2015年 上記に加え、欧州富士通研究所スペイン支所長

講演概要

情報通信分野で世界最先端を行く研究機関で働く研究者のレベルがすさまじく高い、というのは過去のもの。天才が技術によって新分野を切り拓くフェーズは終わって久しい。日本のトップ校を出た修士、博士であれば、地頭レベルでほぼ同等。粘り強さも加えると、大きなアドバンテージがあるというのが実感である。

しかしながら、グローバル環境で活躍するという点で、多くの日本人に決定的に欠けているものが二つある。それは英語力ではない。本講演では、実体験に基づき、「欠けている二つのピース」を明らかにするとともに、それをどのようにして埋めていくかについてのアプローチを示す。これらは日本に留まっても獲得できることがポイントである。

「日本人よ、もっと海外に出よ」とよく言われるが、それよりもっと大切なことは、「いつでもグローバルで活躍できる能力」を身につけておくことである。これさえ持っていれば、選択肢が何倍、何十倍にも広がる。大きな自由を身につけることに他ならない。



中馬 宏之
成城大学 社会イノベーション学部 教授
一橋大学 名誉教授

略歴

- 1975年 一橋大学経済学部卒（卒業後、民間企業勤）
- 1984年 ニューヨーク州立大学バッファロー校経済学部博士課程卒
- 1984年 南イリノイ大学カーボンデール校経済学部助教授
- 1992年 一橋大学経済学部准教授（92）、同教授（93）
- 2000年 独）経済産業研究所 ファカルティフェロー（継続中）
- 2009年 総合科学技術会議・基本政策専門調査会専門委員
- 2014年 成城大学社会イノベーション学部教授（現在）

講演概要

ICT革命が本格化した1990年代半ば以降における半導体産業やバイオ・医薬品、ソフトウェア産業に代表される日本のサイエンス/ハイテク型産業の競争力低下傾向には顕著なパターンがある。それは、既存の競争領域よりワンランクないしツーランク上の抽象度で頻繁に起こりはじめた多段階競争（multi-level competition）に迅速に対応できなくなって世界に劣後して行くというパターンである。そして、誠に残念ながら、このパターンは、比較的見えやすい設計領域のみならず、生産システム、製品・生産技術、R&D（含むマーケティング）等の全ての領域で発生してきている。

実際、ICTは、歴史上類例がない形であらゆる事柄を自動化/アルゴリズム化し、あらゆる事柄を一目瞭然化する。そして、そのようなICTの便益が可能にした現代の稠密なネットワーク社会では、市場・テクノロジーの変化速度が大幅に加速し、社会に提供される財サービスの複雑化（complexification）が急速に進んできた。複雑化・ネットワーク化とは、人工物が生命体かに関わらず、共存共栄のための協調行動そのものであることによる。本プレゼンでは、このような多段階競争下で競争力が低下してきている様子を事例ベースで一目瞭然化しながら、このような逆境に打ち勝つために日本社会（含む我々）にどのような変化が要請されているのかについて試論的に検討する。

会場までのアクセス



会場：
吹田キャンパス情報科学研究科B棟 B101講義室

電車：

阪急電車千里線「北千里駅」（終点）下車 東へ徒歩 20分
大阪モノレール「阪大病院前駅」下車 徒歩約 10分

バス：

阪急バス 千里中央発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」
近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」（JR 茨木駅経由）
いずれも、阪大本部前下車 徒歩約 5分